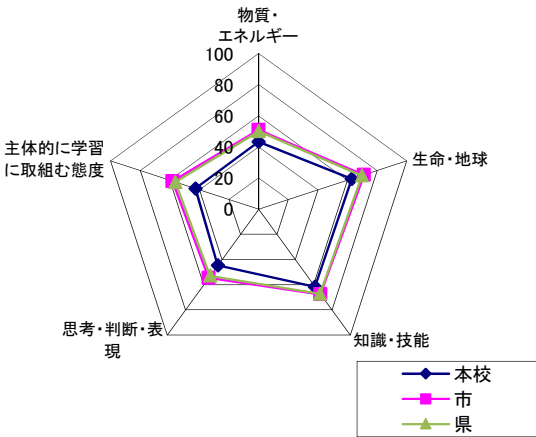


宇都宮市立宝木小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	43.3	50.8	50.0
	生命・地球	62.9	71.1	69.8
観点	知識・技能	61.6	67.6	67.2
	思考・判断・表現	44.6	54.5	52.9
	主体的に学習に取り組む態度	42.7	58.1	56.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	平均正答率は、県の平均と比べて低い。 ○「電気のはたらき」についての問題では、直列つなぎについての設問に対する正答率は71.6%で、県の平均を7ポイント上回っている。 ●「物の体積と温度」についての問題では、空気、水、金属を温度による体積変化が大きい順に並び変える設問に対する正答率は38.2%で、県の平均を16.4ポイント下回っている。また、この単元の設問は全部で3問あるが、3問とも県の平均よりも低い状況である。	・どの単元においても、読み取ったことや考えたことを記述して答える問題の正答率が低い。また、無回答による不正解の割合も多いため、実験や観察を通して、自分の考えを書いたりまとめたりする機会を多く設けて、書く力を付けていけるようにしていく。 ・学んだことやグラフをもとに結果を推測したり読み取ったりする問題の正答率が低いことから、実験で分かることを正確に理解できていないことが考えられる。授業において実験をした際には、考察や結果の確認をするだけでなく、グループで用具の使い方や実験の方法など確認し合いながら進めていき、教え合うことで知識を高められるようにする。
生命・地球	平均正答率は、県の平均と比べて低い。 ○●「天気の様子と気温」についての問題では、屋外での気温の測り方についての設問に対する正答率は89.2%で、県の平均を1ポイント上回ってポイント上回っている。しかし、1日の気温の変化のグラフから晴れの日を判断し、その理由を説明する問題の正答率は29.4%と低く、県の平均より24.3ポイントと大きく下回った。 ●「1年間の植物の成長」についての問題では、グラフから、ヘチマのくきの伸びと気温の変化の関係を読み取り説明する設問の正答率は66.7%で、県の平均を9.3ポイント下回っている。	・物質・エネルギー区分の問題と同じように、全体的に記述の問題の正答率が低く、無回答の割合が多い。授業の中でも自分の言葉でまとめる機会を増やし、書くことへの抵抗を減らし、書く力を付けられるように促していく。理解しているつもりでも、文に表そうとすると難しいと感じる児童が多いと考えられることから、キーワードや質問の内容は何かといったことをヒントとして出すなど、書くことをイメージできるように丁寧に支援していく。